03教・内容解説資料

2018年度～用 三省堂国語教科書

高等学校 古典B 古文編［改訂版］

A5判・260ページ
古文92教材

■ご案内

教科書の目次 第一部…1
第二部…2
教科書の特色……4
教科書ダイジェスト……6
指導書・教材……22
デジタル教材……24

三省堂

＊この資料は，一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則って作成しています。

古B 333

三省堂版 国語教科書

★印は平成29年度新刊，☆印は平成30年度新刊です。

国語総合

★ 高等学校国語総合 現代文編［改訂版］ A5判／280ページ 国総 336

★ 高等学校国語総合 古典編［改訂版］ A5判／192ページ 国総 337

★ 精選国語総合［改訂版］ A5判／400ページ 国総 338

★ 明解国語総合［改訂版］ A5判／360ページ 国総 339

現代文B

☆ 高等学校現代文B［改訂版］ A5判／440ページ 現B 323

☆ 精選現代文B［改訂版］ A5判／408ページ 現B 324

☆ 明解現代文B［改訂版］ A5判／372ページ 現B 325

古典B

☆ 高等学校古典B 古文編［改訂版］ A5判／260ページ 古B 333

☆ 高等学校古典B 漢文編［改訂版］ A5判／184ページ 古B 334

☆ 精選古典B［改訂版］ A5判／372ページ 古B 335

現代文A

現代文A B5判／144ページ 現A 303

古典A

古典A B5判／144ページ 古A 306

高等学校古典B編集委員

中洌正堯　兵庫教育大学名誉教授
岩﨑昇一　東京都立国際高等学校
赤井益久　國學院大學
安藤延明　高槻中学校・高等学校
石村貴博　専修大学
大島　晃　上智大学名誉教授
風間誠史　相模女子大学
小池保則　武蔵高等学校中学校
瀧　康秀　清泉女学院中学高等学校
田口かおる　東京都立豊多摩高等学校
田中尚子　愛媛大学
長尾直茂　上智大学
長屋万里子　東京都立国際高等学校
奈良部真樹子　千葉県立船橋芝山高等学校
福家俊幸　早稲田大学
細谷敦仁　東京都立戸山高等学校
堀口良恵　東京都立三田高等学校
松下愛理　東京都立深沢高等学校

★三省堂教科書・教材サイト
https://tb.sanseido.co.jp　三省堂国語教科書　検索

三省堂
〒101-8371 東京都千代田区神田三崎町2-22-14　☎03(3230)9411(編集)・9556(営業)
●大阪支社 〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2-5-3　☎06(6341)2177
●名古屋支社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-21-31 協和丸の内ビル2F　☎052(953)9211
●九州支社 〒810-0012 福岡市中央区白金1-3-1　☎092(531)1531・1532
●札幌営業所 〒060-0042 札幌市中央区大通西15-2-1 ラスコム15ビル3F　☎011(616)8722

古文編

■古文編は充実の92教材。第一部では、各時代の作品を幅広く配列。第二部では、「枕草子」「源氏物語」「大鏡」および評論を特に充実させ、圧倒的な分量を収録しました。

■作品の時代背景や古人のものの見方や考え方について解説した「古典の扉」を設けました。

＊：本内容解説資料でご紹介するページ

第一部

一 説話(一)

＊宇治拾遺物語　小野篁、広才のこと 新

十訓抄　安養の尼上の小袖 新

今物語　やさし蔵人

二 随筆(一)

枕草子（清少納言）　九月ばかり／すさまじきもの／中納言参り給ひて／雪のいと高う降りたるを

三 物語(一)

竹取物語　かぐや姫の昇天

伊勢物語　初冠／月やあらぬ／狩りの使ひ／小野の雪

（参考）つひにゆく道

大和物語　姨捨

四 随筆(二)

徒然草（兼好法師）　あだし野の露消ゆる時なく／相模守時頼の母は／家居のつきづきしく／世に語り伝ふること／世に従はん人は

方丈記（鴨長明）　ゆく河の流れ／養和の飢饉／日野山の閑居

◆古典の扉　隠者の文学

古今著聞集　小大進、北野の神助を被ること

発心集（鴨長明）　侍従大納言、験者の改請を止むること

古本説話集　丹後の国の成合のこと

五 説話(二)

源氏物語（紫式部）　光源氏の誕生／藤壺の入内／北山の垣間見

大鏡　雲林院の菩提講／花山院の出家／弓争ひ

六 物語(二)

＊更級日記（菅原孝標女）　あこがれ／源氏の五十余巻

建礼門院右京大夫集（建礼門院右京大夫）　なべて世のはかなきことを 新／今や夢昔や夢と 新

七 日記

◆古典の扉　平安時代の文学――女性と仮名

平家物語　忠度の都落ち／能登殿の最期

八 軍記

和歌十六首

九 和歌と連歌

＊水無瀬三吟百韻

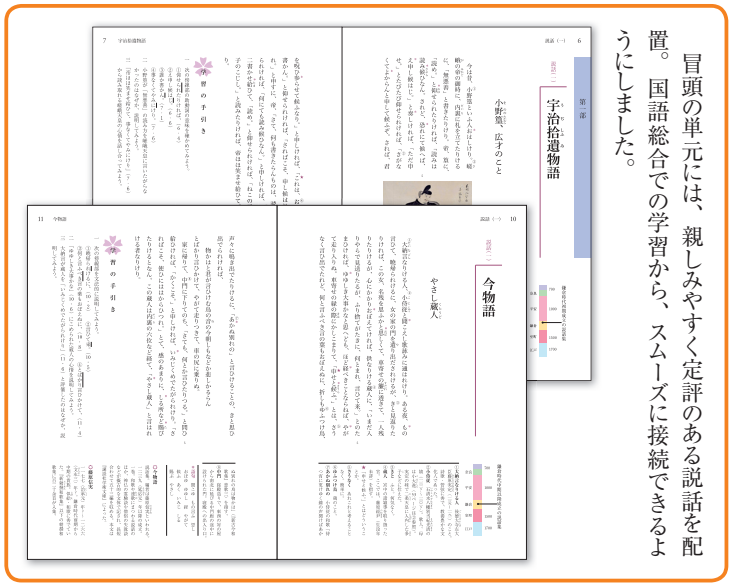
近世俳諧

◆古典の扉　和歌から連歌へ、連歌から俳諧へ

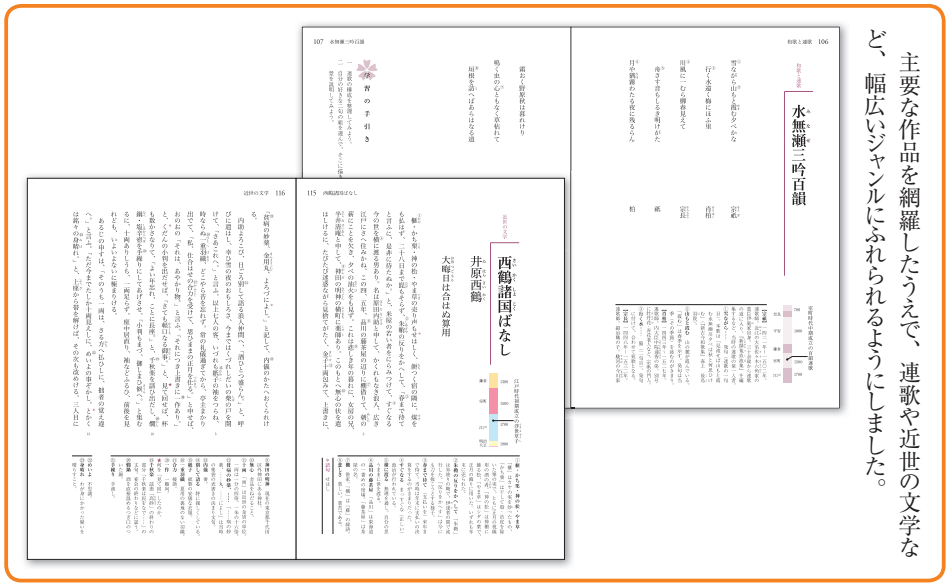
笈の小文（松尾芭蕉）

西鶴諸国ばなし（井原西鶴）　大晦日は合はぬ算用

十 近世の文学



冒頭の単元には、親しみやすく定評のある説話を配置。国語総合での学習から、スムーズに接続できるようにしました。



主要な作品を網羅したうえで、連歌や近世の文学など、幅広いジャンルにふれられるようにしました。

第二部

一 随筆

枕草子（清少納言）
＊木の花は／かたはらいたきもの／二月つごもりごろに／頭の弁の、職に参り給ひて／殿などのおはしまさでのち／宮に初めて参りたるころ／大納言殿参り給ひて／この草子、目に見え心に思ふことを

二 物語（一）

源氏物語（紫式部）
高麗人の観相／廃院の怪／藤壺の里下がり／車争ひ／心づくしの秋風／明石の君の苦悩／女三の宮の降嫁／萩の上露／形見の文／小野の里訪問／夢の浮橋

堤中納言物語　虫めづる姫君

住吉物語　初瀬の霊夢 新

しのびね　嵯峨野わたり 新

◆古典の扉　「声」を聞く――物語の歴史

三 日記

蜻蛉日記（藤原道綱母）
うつろひたる菊／鷹を放つ

和泉式部日記（和泉式部）
夢よりもはかなき世の中を

紫式部日記（紫式部）
秋のけはひ／和泉式部と清少納言

『枕草子』『源氏物語』『大鏡』は、第一部、第二部ともに取り上げ、作品をさらに読み深められるようにしました。

四 物語（二）

大鏡
東風吹かば／宣耀殿の女御／最後の除目／三舟の才／肝試し／道長と詮子／鶯宿梅

＊栄花物語　今さらのご対面 新／世の響き 新

五 評論

＊◆古典の扉　比べ読みで見える古典の世界 新

古今和歌集仮名序（紀貫之）　やまと歌は

俊頼髄脳（源俊頼）　鷹狩りの歌

＊無名草子　清少納言／紫式部

無名抄（鴨長明）　深草の里

毎月抄（藤原定家）　心と詞

正徹物語（正徹）　一字の違ひ／亡き人恋ふる

風姿花伝（世阿弥）　秘すれば花

去来抄（向井去来）　行く春を／岩鼻や

難波土産　虚実皮膜の間

玉勝間（本居宣長）　師の説と違へること多く

源氏物語玉の小櫛（本居宣長）　もののあはれ

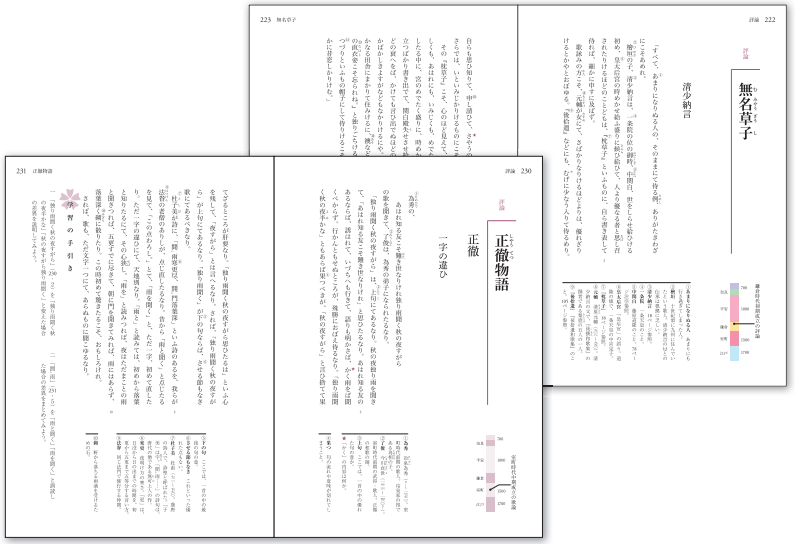
付録

古典文法要覧／古典文学史年表／日本の古典芸能

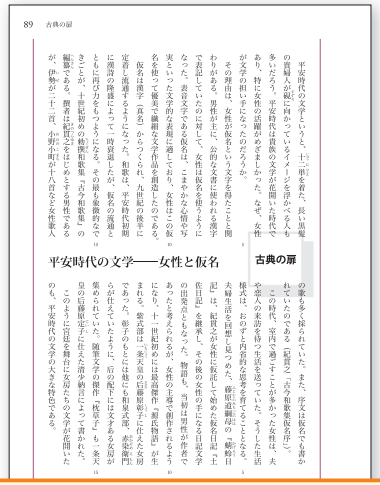
資料

旧国名・都道府県名対照図ほか／装束／住居・調度／陰暦／古時刻・古方位ほか

大学入試を見据え、評論教材も豊富に収録。歌論や能楽論など、それぞれに特色のある評論をそろえました。

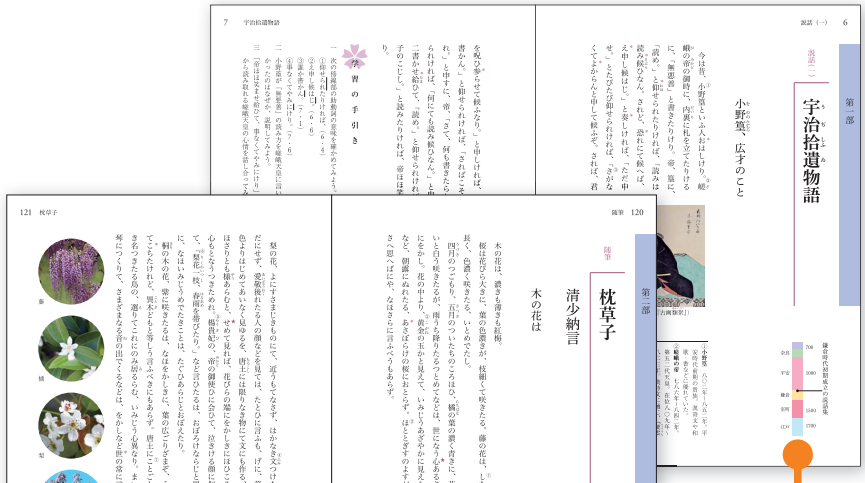


教科書の特色

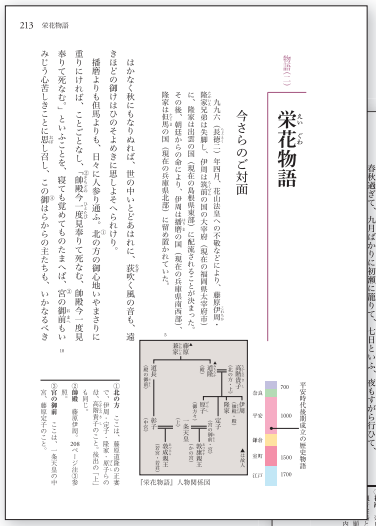


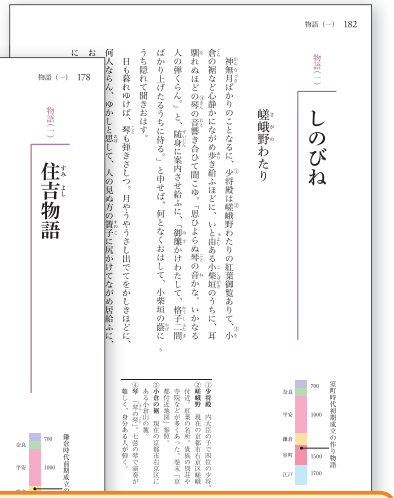
古典への理解を深める「古典の扉」

作品の時代背景や古人のものの見方にふれることができるコラムを随所に設定し，古典への理解がより深まるようにしました。



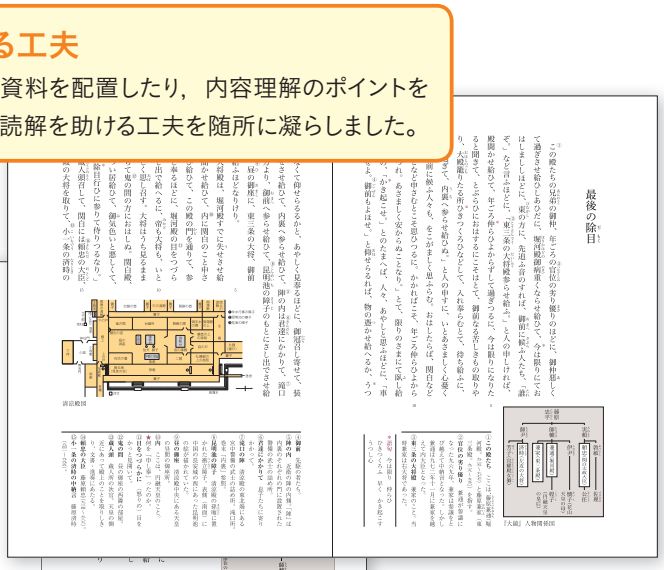
成立年代バー
文学史におけるその作品の位置がひとめでわかります。





古典の世界の広がりが感じられる新教材

『源氏物語』とも関連のある『住吉物語』や『しのびね』，『枕草子』や『大鏡』と比べ読みができる『栄花物語』など，古典の世界の広がりが感じられる新しい物語教材を豊富に取り入れました。



古典の読解を支える工夫

本文と関係の深い図版や資料を配置したり，内容理解のポイントを脚問で示すなど，古典の読解を助ける工夫を随所に凝らしました。

第一部

説話（一）

宇治拾遺物語

冒頭には、導入として説話を配置。国語総合での学習の成果を受けて、より深く古文を学んでいこうとする意欲をもてるようにしました。

小野篁、広才のこと

今は昔、小野篁といふ人おはしけり。①嵯峨の帝の御時に、内裏に札を立てたりけるに、「無悪善」と書きたりけり。帝、篁に、「読め。」と仰せられたりければ、「読みは読み候ひなん。されど、恐れにて候へば、え申し候はじ。」と奏しければ、「ただ申せ。」とたびたび仰せられければ、「③さがなくてよからんと申して候ふぞ。されば、君を呪ひ参らせて候ふなり。」と申しければ、「★これは、④おのれ放ちては、誰か書かん。」と仰せられければ、「さればこそ、申し候はじとは申して候ひつれ。」と申すに、帝、「さて、何も書きたらんものは、読みてんや。」と仰せられければ、「何にても読み候ひなん。」と申しければ、⑤片仮名の子文字を十二書かせ給ひて、「読め。」と仰せられければ、「ねこの子のこねこ、ししの子のこじし。」と読みたりければ、帝ほほ笑ませ給ひて、事なくてやみにけり。

小野篁（江戸時代後期　『古画類聚』）

①**小野篁**　八〇二年～八五二年。平安時代前期の貴族。漢詩文や和歌・書などに優れていた。

②**嵯峨の帝**　七八六年～八四二年。第五二代天皇。在位八〇九年～八二三年。漢詩文に通じ、『凌雲集』『文華秀麗集』の編纂を命じた。能書家で、三筆の一人。

③**さが**　生来の性分のこと。ここでは、悪い性質のこと。

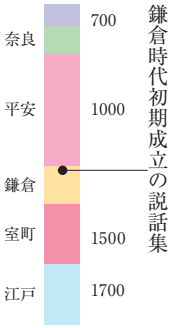
★「これ」とは何か。

④**おのれ放ちては**　おまえ以外には。

⑤**片仮名の子文字**　当時は片仮名の「ネ」として「子」の字を用いることが多くあった。

＊語句　おはす　仰す　候ふ　恐れ　え……（打消）　奏す　よし　参らす　給ふ

教材名の下に「成立年代バー」をおき、ひとめで作品の成立時期がわかるようにしました。



学習の手引き

文法を理解するための問いと内容を理解するための問いを教材に応じて設けました。

一　次の傍線部の助動詞の意味を確かめてみよう。

①仰せられたりければ、（6・4）

②え申し候はじ。（6・6）

③誰か書かん。（7・1）

④事なくてやみにけり。（7・6）

二　小野篁が「無悪善」の読み方を嵯峨天皇に言いたがらなかったのはなぜか、説明してみよう。

三　「帝ほほ笑ませ給ひて、事なくてやみにけり」（7・6）から読み取れる嵯峨天皇の心情を話し合ってみよう。

宇治拾遺物語

説話集。編者未詳。鎌倉時代初期の成立。百九十七話からなる。仏の功徳や高僧の逸話などの仏教説話のほか、昔話や笑話なども収められており、平安から鎌倉時代にかけての人々の生活をうかがうことができる。本文は『新日本古典文学大系』によった。

日記

更級日記

菅原孝標女

第一部は、時代とジャンルの両観点から幅広く作品を選定。日本の古典文学の全体像に迫ることができるようにしました。

あこがれ

①東路の道の果てよりも、②なほ奥つ方に★生ひ出でたる人、いかばかりかはあやし*かりけむを、いかに思ひ始めけることにか、世の中に物語といふもののあんなるを、いかで見ばやと思ひつつ、つれづれなる昼間、宵居などに、姉、継母などやうの人々の、その物語、かの物語、光源氏のあるやうなど、ところどころ語るを

5

『薬師仏に祈る』（昭和時代中期　佐多芳郎筆）

①**東路の道の果て**　東海道の果ての常陸の国（現在の茨城県）。「東路の道の果てなる常陸帯のかごとばかりもあひみてしがな」（『古今和歌六帖』紀友則）をふまえる。

②**なほ奥つ方**　もっと奥のほう。ここは上総の国（現在の千葉県中部）を指す。

★「生ひ出でたる人」とは誰のことか。

③**等身**　願掛けをする人と同じ身の丈。

④**薬師仏**　薬師瑠璃光如来。願いをかなえ病苦を救う仏。

⑤**人ま**　人のいない間。

平安時代後期成立の日記

奈良	700
平安	1000
鎌倉	
室町	1500
江戸	1700

聞くに、いとど*ゆかしさまされど、わが思ふままに、そらにいかでかおぼえ語らむ。いみじく心もとなきままに、等身に③薬師仏を造りて、手洗ひなどして、人まにみそかに入りつつ、「京に疾く上げ給ひて、物語の多く候ふなる、ある限り見せ給へ。」と、身を捨てて額をつき、祈り申すほどに、十三になる年、上らむとて、九月三日門出して、⑦いまたちといふ所に移る。

年ごろ遊びなれつる所を、あらはにこほち散らして、たち騒ぎて、日の入りぎはの、いとすごく霧りわたりたるに、車に乗るとてうち見やりたれば、人までは参りつつ額をつきし薬師仏の立ち給へるを、見捨て奉る悲しくて、人知れずうち泣かれぬ。

5

学習の手引き

一　「物語といふもののあんなるを」（80・4）、「多く候ふなる」（81・3）の傍線部で助動詞「なり」が使われている理由を説明してみよう。

二　「いかばかりかはあやしかりけむを」（80・2）には作者のどのような思いがこめられているか、話し合ってみよう。

三　作者が物語に強く憧れていった経過を整理してみよう。

⑥**十三になる年**　一〇二〇（寛仁四）年。

⑦**いまたち**　地名か。

⑧**こほち散らして**　「こほつ」は「壊す」の意。ここでは、御簾や几帳などを取り払って。

＊**語句**　あやし　いかで……ばや　いとど　ゆかしさ　心もとなし　すごし

『更級日記』参考地図

和歌と連歌

水無瀬三吟百韻

和歌と近世俳諧の間に連歌を取り上げて教材化。和歌から連歌へ、連歌から俳諧へ、そして現在の俳句に至るまでの流れを感じられるようにしました。

①雪ながら山②もと霞む夕べかな　宗祇

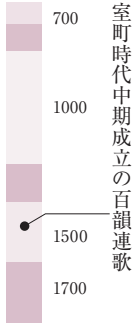
③行く水遠く梅にほふ里　肖柏

④川風に一むら柳春見えて　宗長

⑤舟さす音もしるき明けがた　祇

⑥月や猶霧わたる夜に残るらん　柏

室町時代中期成立の百韻連歌



【宗祇】一四二一年～一五〇二年。連歌師。近江の大名佐々木六角家の重臣伊庭家出身。三十余歳から連歌の道に入り、『新撰菟玖波集』を編集するなど、当時の連歌の第一人者。

①**雪ながら……**　発句（連歌の第一句目）。本歌は「見渡せば山もと霞む水無瀬川夕べは秋と何思ひけむ」（『新古今和歌集』春上　後鳥羽院）。

②**山もと霞む**　山の麓が霞んでいる。「霞む」は春季を示す。発句は当季（その季節）を詠むのがきまり。

【肖柏】一四四三年～一五二七年。連歌師。内大臣中院通秀の弟。別号に牡丹花・弄花老人など。宗祇の門人。

③**行く水……**　脇（第二句目）。発句に付けて、合わせて短歌となる。

【宗長】一四四八年～一五三二年。連歌師。鍛冶職の子。駿河の今川家に仕えたが剃髪して一休宗純の門に入り、宗祇の門人となる。著書に『宗長手記』などがある。

④**川風に……**　第三（第三句目）。脇に付けて、第三と脇で短歌となる。以下同様に続く。

⑤**舟さす**　船頭などが棹をさして舟を出すこと。なお、四句目以下は一括して平句という。

⑥**月や猶……**　月・霧は秋季を示す。舟の句を間にして春から秋へ季節を転じている。

⑦**心ともなく**　心にかまうことなく。

⑧**垣根を訪へば……**　ここまでを表八句と呼び、懐紙一枚めの表に記す。四枚の懐紙の裏表に百句が記され、最後の句を挙句という。

✿水無瀬三吟百韻

一四八八（長享二）年一月二十二日成立。後鳥羽院の二百五十年忌に、ゆかりの地である水無瀬（現在の大阪府三島郡）で行われた百韻連歌。当時の連歌の第一人者であった宗祇と、その高弟である肖柏、宗長の三人で詠まれ、連歌の手本とされる。本文は『新編日本古典文学全集』によった。

霜おく野原秋は暮れけり　長

鳴く虫の心⑦ともなく草枯れて　祇

⑧垣根を訪へばあらはなる道　柏

学習の手引き

一　連歌の構成を整理してみよう。

二　自分の好きな二句の組を選んで、そこに描き出された情景を説明してみよう。

第二部

随筆

枕草子

第二部は、第一部にも収録した「枕草子」「源氏物語」「大鏡」を再度取り上げ、特に充実を図りました。それぞれの作品の個性をより深く理解でき、古文を読む体験を積み重ねられるようにしました。

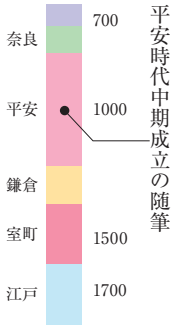
清少納言

木の花は

木の花は、濃きも薄きも紅梅。

桜は花びら大きに、葉の色濃きが、枝細くて咲きたる。藤の花は、①しなひ長く、色濃く咲きたる、いとめでたし。

四月のつごもり、五月のついたちのころほひ、橘の葉の濃く青きに、花のいと白う咲きたるが、雨うち降りたるつとめてなどは、世になう心あるさまにをかし。花の中より、②黄金の玉かと見えて、いみじうあざやかに見えたるなど、朝露にぬれたる、*あさぼらけの桜におとらず。③ほととぎすのよすがとさへ思へばにや、なほさらに言ふべうもあらず。



①**しなひ**　ここは、しなやかに垂れ下がっている花房のこと。

★「心あるさま」とはどういうことか。

②**黄金の玉**　橘の実のたとえ。前年になった実が残っている状態。

③**ほととぎすのよすが**　「けさ来鳴きいまだ旅なるほととぎす花橘に宿は借らなむ」（『古今和歌集』夏よみ人しらず）などと詠まれたように、ホトトギスは橘の木を好んで宿ると考えられていた。

④**文つけ**　手紙を花の咲いた木の枝につけて贈ること。

★「せめて見れば」とはどういうことか。

梨の花、よにすさまじきものにて、近うもてなさず、はかなき④文つけなどだにせず、愛敬後れたる人の顔などを見ては、たとひに言ふも、げに、葉の色よりはじめてあいなく見ゆるを、唐土には限りなき物にて文にも作る、なほさりとも様あらむと、★せめて見れば、花びらの端にをかしきにほひこそ、心もとなうつきためれ。⑤楊貴妃の、帝の御使ひに会ひて、泣きける顔に似せて、「⑥梨花一枝、春雨を帯びたり。」など言ひたるは、おぼろけならじと思ふに、なほいみじうめでたきことは、たぐひあらじとおぼえたり。

桐の木の花、紫に咲きたるは、なほをかしきに、葉の広ごりざまぞ、うたてこちたけれど、異木どもと等しう言ふべきにもあらず。唐土に⑦ことごとしき名つきたる鳥の、選りてこれにのみ居るらむ、いみじう心異なり。まいて琴につくりて、さまざまなる音の出でくるなどは、をかしなど世の*常に言ふ

藤

橘

梨

桐

楝

⑤**楊貴妃の、帝の御使ひに会ひて**　玄宗皇帝が亡き楊貴妃を訪ねに遣わした道士が、楊貴妃と出会ったという伝説による。白居易（七二一～八四六）の「長恨歌」で知られる。

⑥**梨花一枝、春雨を帯びたり**　「長恨歌」の一節。道士と会った楊貴妃が帝を思って泣く様子を、「玉容寂寞涙闌干、梨花一枝春帯雨」と詠んだ。

⑦**ことごとしき名つきたる鳥**　仰々しい名前のついた鳥。ここでは鳳凰のこと。鳳凰は中国の想像上の鳥。

＊**語句**　あさぼらけ　こちたし　世の常

べくやはある。いみじうこそめでたけれ。

木のさまにくげなれど、⑧楝の花、いとをかし。枯れ枯れに、さま異に咲きて、必ず五月五日にあふも、をかし。

（第三四段）

学習の手引き

一「……をかしなど世の常に言ふべくやはある」（121・11）には筆者のどのような思いが読み取れるか、傍線部に注意して説明してみよう。

二　筆者は、「橘」「梨」「桐」をどのような観点から評価しているか、まとめてみよう。

⑧**楝**　センダンの古名。センダン科の落葉高木。初夏、紫青色の小花を円錐状につけ、晩秋、黄色い楕円形の実がなる。

※教科書のレイアウトを一部変更しています。

物語（二）

栄花物語

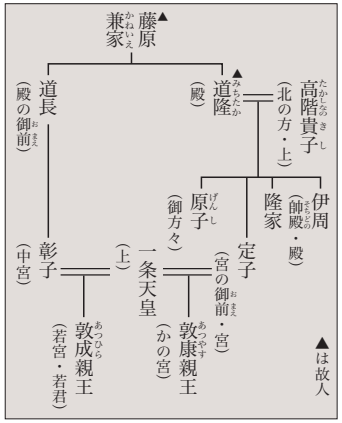
他作品との関係を意識して読むことができる作品を配列。作品相互の関係に気づいたり、人物やできごとを多角的に捉えたりすることができるようにしました。

今さらのご対面

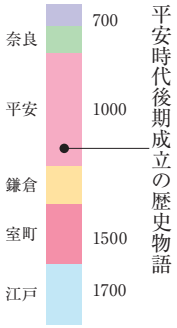
九九六（長徳二）年四月、花山法皇への不敬などにより、藤原伊周・隆家兄弟は失脚し、伊周は筑前の国の大宰府（現在の福岡県太宰府市）に、隆家は出雲の国（現在の島根県東部）に配流されることが決まった。その後、朝廷からの命により、伊周は播磨の国（現在の兵庫県南西部）、隆家は但馬の国（現在の兵庫県北部）に留め置かれていた。

はかなく秋にもなりぬれば、世の中いとどあはれに、荻吹く風の音も、遠きほどの御けはひのそよめきに思しよそへられけり。

播磨よりも但馬よりも、日々に人参り通ふ。①北の方の御心地いやまさりに重りにければ、ことごとなし、「②帥殿今一度見奉りて死なむ、帥殿今一度見奉りて死なむ。」といふことを、寝ても覚めてものたまへば、③宮の御前もいみじう心苦しきことに思し召し、この④御はらからの主たちも、いかなるべき



『栄花物語』人物関係図



平安時代後期成立の歴史物語

①**北の方**　ここは、藤原道隆の正妻で、伊周・定子・隆家・原子らの母、高階貴子のこと。後出の「上」も同じ。

②**帥殿**　藤原伊周。208ページ注③参照。

③**宮の御前**　ここは、一条天皇の中宮、藤原定子のこと。

ことにかと思ひ惑はせど、なほいと恐ろし。北の方は切に泣き恋ひ奉り給ふ。見聞き奉る人々も、やすからず思ひ聞こえたり。

播磨にはかくと聞き給ひて、いかにすべきことにかはあらむ、事の聞こえあらば、わが身こそはいよいよ不用の者になりはてて、都を見でやみなめなど、よろづに思しつづけて、ただとにかくに御涙のみぞ隙なきや。さはれ、この身はまたはいかがはならむとする、これにまさるやうはと、思しなりて、親の限りにおはせむ見奉りたりとて、公もいとど罪せさせ給ひ、神仏も憎ませ給はば、なほさるべきなめりとこそは思はめと、思したちて、夜を昼にて上り給ふ。

さて宮の内には事の聞こえあるべければ、この西の京に西院といふ所に、いみじう忍びて夜中におはしたれば、上も宮もいと忍びてそこにおはしましあひたり。この西院も、殿のおはしましをり、この北の方のかやうの所をわざと尋ねかへりみさせ給ひしかば、そのをりの御心ばへどもに思ひて、洩らすまじき所を思しよりたりけり。母北の方も、宮の御前も、御方々も、殿も見奉りかはさせ給ひて、また今さらのご対面の喜びの御涙も、いとおどろおどろしういみじ。上はかしこく御車に乗せ奉りて、おましながらかきおろし奉りける。いと不覚*になりにける御心地なりけれど、よろづ騒がしう泣く泣く聞こえ給ひて、「今は心やすく死にもし侍るべきかな。」と、喜び聞こえ給ふも、いかでかはおろかに、あはれに悲しとも世の常なりや。

④**御はらからの主たち**　高階貴子の兄弟。高階信順・明順・道順ら。

★「かく」が指す内容は何か。

⑤**不用の者**　役に立たない者。

⑥**さはれ**　どうにでもなれ。ままよ。

⑦**公**　朝廷。

⑧**夜を昼にて**　昼夜兼行で。

⑨**西の京**　右京のこと。48ページ注⑰参照。

⑩**西院**　淳和院のこと。四条大路の北、道祖大路の東（西大宮大路の東とする説もある）にあった。巻末「平安京条坊図」参照。

⑪**殿**　ここは、藤原道隆のこと。

⑫**御方々**　中宮定子の妹原子ら。

⑬**殿**　ここは、藤原伊周のこと。

⑭**おましながら**　御座所に乗せたまま。

学習の手引き

一　伊周（帥殿）が帰京を決意するまでの心の動きを整理してみよう。

二　「いかでかはおろかに、あはれに悲しとも世の常なりや」（215・3）と述べている理由は何か、説明してみよう。

世の響き

九九九（長保元）年に一条天皇の皇后藤原定子の産んだ敦康親王は、第一皇子であり、帝位を望める身であったが、一〇〇八（寛弘五）年に中宮藤原彰子が第二皇子敦成親王を産んだことで、状況が一変する。時の権力者である藤原道長を祖父にもつ敦成親王に対し、敦康親王には、誕生時に関白であった祖父藤原道隆はすでに亡く、三歳で母定子を、十二歳で伯父伊周を亡くしていた。一〇一一（寛弘八）年六月、一条天皇は譲位にあたり、十三歳の敦康親王ではなく、四歳の敦成親王を東宮の座に就けることを決断する。

*語句　不覚なり

①**中宮**　ここは、一条天皇の中宮、藤原彰子のこと。

②**若宮の御事**　敦成親王が東宮になること。

中宮は若宮の御事の定まりぬるを、例の人におはしまさば、ぜひなくうれしうこそは思し召すべきを、「上は道理のままにとこそは思しつらめ。かの宮も、さりともさやうにこそはあらめと思しつらむに、かく世の響きにより、引き違へ思し掟つるにこそあらめ。さりともと御心の中の嘆かしうやすからぬことには、これをこそ思し召すらむに、いみじう心苦しういとほしう、若君はまだいと幼くおはしませば、おのづから御宿世にまかせてありなむものを。」など思し召いて、殿の御前にも、「なほこのことといかでさらでありにしがなとなむ思ひ侍る。かの御心の中には、年ごろ思し召しつらむことの違ふをなむ、いと心苦しうわりなき。」など、泣く泣くといふばかりに申させ給へば、殿の御前、「げにいとありがたきことにもおはしますかな。またさるべきことならば、げにと思ひ給へてなむ掟て仕うまつるべきを、上おはしまして、あべいことどもをつぶつぶと仰せらるるに、『いな、なほ悪しう仰せらるることなり。次第にこそ。』と奏し返すべきことにも侍らず。世の中いとはかなう侍れば、かくて世に侍るをり、さやうならむ御ありさまも見奉り侍りなば、後の世も思ひなく心やすくてこそ侍らめとなむ思ひ給ふる。」と申させ給へば、またこれも理の御事なれば、返し聞こえさせ給はず。

③**上**　ここは、一条天皇のこと。
④**道理のまま**　兄が弟よりも優先されるということ。
⑤**かの宮**　ここは、敦康親王のこと。
⑥**御心**　敦康親王のお心。
⑦**若君**　「若宮」と同じ。敦成親王。
⑧**殿の御前**　ここは、藤原道長のこと。中宮彰子の父。
★「このこと」とは、どのようなことを指すか。
⑨**あべい**　「あるべき」の撥音便「あんべき」の「ん」を表記しない形「あべき」がイ音便化したもの。

＊**語句**　引き違ふ　思し掟つ　にしがな　つぶつぶと

栄花物語
歴史物語。作者未詳。平安時代後期の成立。九世紀末の宇多天皇から十一世紀末の堀河天皇までの十五代約二百年の歴史が編年体で記されている。藤原道長・頼通の栄華を中心に、宮廷社会のできごとを物語風に描いている。本文は『新編日本古典文学全集』によった。

古典への理解を深めたり，現代との関わりを考えたりすることができるコラム「古典の扉」を随所に設けました。

学習の手引き

一　「若宮の御事の定まりぬる」（216・1）ことに対して、中宮は一条天皇や敦康親王がどのような思いを抱いていると考えているか、また、中宮自身はどのように考えているか、それぞれ説明してみよう。

二　中宮の訴えに対する道長の返事から、道長のどのような気持ちが読み取れるか、話し合ってみよう。

古典の扉

比べ読みで見える古典の世界

『枕草子』「大納言殿参り給ひて」では、中宮定子を中心とする後宮の優雅な空間における、教養豊かな藤原伊周の姿が描かれている。清少納言にとっては、漢詩文を当意即妙に用いることのできる伊周は称賛の対象であり、中関白道隆の嫡男としての器量を備えた理想の人物である。

これに対して『大鏡』「弓争ひ」では、藤原道長の前で臆して的を外す小心な伊周の姿が描かれる。また『栄花物語』「今さらのご対面」では、道長との権力争いに破れ失脚した失意の人物として登場する。

定子と中関白家を称賛する『枕草子』には、『無名草子』「清少納言」でも指摘されているように、伊周の流罪など中関白家の衰退は描かれない。これに対して道長の栄華を中心とする『大鏡』『栄花物語』では、伊周には道長の引き立て役としての役割が与えられる。視点が変われば、同じ人物でも全く違った存在として描かれるということを認識したい。

目の前の作品を読み解いていくうえで、他作品との関係を意識してみると、古典の世界はまた違った側面を見せてくれる。

物語でいえば、『伊勢物語』「初冠」の垣間見は『源氏物語』「若紫」に通じ、さらには『しのびね』につながる。『更級日記』の作者はこのような物語世界に憧れ、本居宣長は『源氏物語玉の小櫛』で『源氏物語』の本質を「もののあはれ」であると喝破したのである。

複数の作品を視野に入れることで、相互の関係に気づいたり、人物やできごとを多角的に捉えたりすることができる。そこに作者の視点や時代の変遷などを読み取ることもできよう。他作品との関係を考えることで、古典をさらに豊かに読み深めていきたい。

評論

無名草子

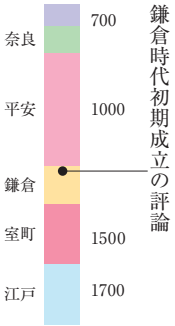
古文における評論的文章を豊富に収録。古文を読み解く多様な視点や伝統的世界から現代に通じる視座を感得できるようにしました。

清少納言

「すべて、①あまりになりぬる人の、そのままにて侍る例、ありがたきわざにこそあめれ。

②檜垣の子、③清少納言は、④一条院の位の御時、⑤中関白、世をしらせ給ひける初め、⑥皇太后宮の時めかせ給ふ盛りに候ひ給ひて、人より優なる者と思し召されたりけるほどのことどもは、⑦『枕草子』といふものに、自ら書き表して侍れば、細かに申すに及ばず。

歌詠みの方こそ、⑧元輔が女にて、さばかりなりけるほどよりは、優れざりけるとかやとおぼゆる。『⑨後拾遺』などにも、*むげに少なう入りて侍るめり。



①**あまりになりぬる人**　あまりにも行き過ぎてしまった人。

②**檜垣**　十世紀頃に九州に住んでいたという歌人。清少納言の母との伝承は根拠に乏しい。

③**清少納言**　18ページ参照。

④**一条院**　一条天皇のこと。

⑤**中関白**　藤原道隆のこと。78ページ注⑨参照。

⑥**皇太后宮**　「皇后宮」の誤り。道隆の娘で、一条天皇の中宮定子。

⑦**『枕草子』**　18ページ参照。

⑧**元輔**　清原元輔（九〇八～九九〇）。清少納言の父で、『後撰和歌集』の撰者である梨壺の五人の一人。

⑨**『後拾遺』**　『後拾遺和歌集』のこと。105ページ参照。

自らも思ひ知りて、⑩申し請ひて、★さやうのことには交じり侍らざりけるにや。さらでは、いといみじかりけるものにこそあめれ。

その『枕草子』こそ、心のほど見えて、いとをかしう侍れ。さばかりをかしくも、あはれにも、いみじくも、めでたくもあることども、残らず書き記したる中に、宮のめでたく盛りに、時めかせ給ひしことばかりを、身の毛も立つばかり書き出でて、関白殿失せさせ給ひ、⑪内大臣流され給ひなどせしほどの衰へをば、かけても言ひ出でぬほどのいみじき心ばせなりけむ人の、はかばかしきよすがなどもなかりけるにや。乳母の子なりける者に具して、遥かなる田舎にまかりて住みけるに、⑫襖などいふもの干しに外に出づとて、『昔の⑬直衣姿こそ忘られね。』と独りごちけるを見侍りければ、あやしの衣着て、⑭つづりといふもの帽子にして侍りけるこそ、いとあはれなれ。まことに、いかに昔恋しかりけむ。」

⑩**申し請ひて、……侍らざりけるにや**　詠歌を辞退することを定子に了承された話が、『枕草子』「五月の御精進のほど」（第九五段）にある。

★「さやうのこと」とは何か。

⑪**内大臣**　ここは、藤原伊周のこと。定子の兄。208ページ注③参照。

⑫**襖**　庶民が着用した粗末な上衣。

⑬**直衣**　巻末「装束」参照。

⑭**つづり**　布切れを継ぎ合わせたもの。

＊語句　むげに

指導書・教材

■指導書には、教材研究や評価に活用できる資料はもちろん、ワークシート・テスト問題・補充教材などを豊富に収録しました。

■「アクティブ・ラーニングのために」を新設し、主体的・対話的に学びを深める学習活動案を示しました。

指導書

本体価格一八、〇〇〇円（税別）※「古文編」「漢文編」で別売になります。

■**指導資料**
教材研究に役立つ資料や、実際の授業や評価で活用できる情報を豊富に掲載しています。

■**発問例集**
指導資料に掲載した発問をまとめたデータを収録しています。

■**ワークシート**
●構成・内容理解シート ●語句学習シート
●古文品詞分解シート ●古典口語訳シート

■**基本テスト**
短時間で基礎を養う小テスト。現代文編では漢字や語句、古文では文法、漢文では句法などについて出題します。

■**評価問題**
定期考査などに使える問題を、各教材、難易度別に複数収録しています。

■**実力問題**
教科書の教材と同じ著者の作品や、別の著者による同じテーマの文章などを素材にした実力問題を豊富に収録しています。

■**補充教材**
教科書の教材に関連する資料や、発展的に読むことができる作品などを収録しています。

■**教科書原文**
教科書教材文の原文データを収録しています。

■**朗読CD**
一部の教材について、朗読を収録した音声CDです。

■**学習課題ノート**
別売の生徒用教材『学習課題ノート』のデータを同梱しています。

■**教師用教科書**
教科書の紙面に、文章構造や要約、口語訳や文法の解説、「学習の手引き」の解答例など、授業に役立つ情報を青字で刷り込んだものです。

指導書別売品

■**教師用教科書** 本体価格三、〇〇〇円（税別）
指導書の「教師用教科書」と同じものです。

■**指導資料PDF版** 本体価格三、〇〇〇円（税別）
※「古文編」「漢文編」で別売になります。
指導書の「指導資料」の紙面をPDFデータにしたものです。

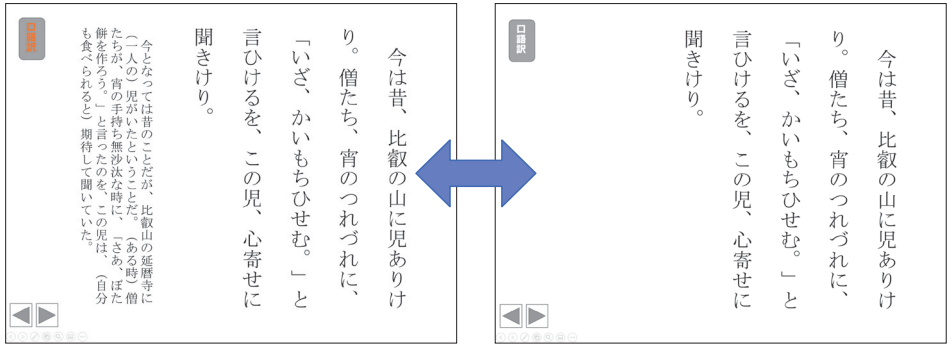
生徒用教材

■**学習課題ノート** 本体価格六〇〇円（税別）
教科書準拠のワークブックです。別冊解答には、自習にも使える詳しい解説が付いています。

授業で使える便利なツールをダウンロード!!

投影用本文データ

電子黒板など大画面に提示する簡易版デジタル教材として活用できる**「本文パワーポイントデータ」**がダウンロードできるようになりました。
ボタンによって表示内容の切り替えができます。



口語訳の表示/非表示が切り替え可能!

ダウンロード方法

1. 下記 URL から三省堂教科書ページへ
2. 対象書名を選択
3. 教科書ページの「資料ダウンロード」内にある サポート資料 からダウンロードページへ遷移
4. 認証情報を入力※
5. 各データをダウンロード

画像は高等学校現代文Bのものです。

※認証には指導書本冊が必要になりますので、お手元にご準備ください。

三省堂教科書ページ
https://tb.sanseido-publ.co.jp/h-school/hs-kokugo/

デジタル教材

指導者用デジタルテキスト

はじめに

●教科書の内容を最大限に活用すること

デジタルテキストでは，教科書本文の拡大提示，付録や図版資料のインデックスおよびその拡大提示など，教科書の内容を提示用の素材として，最大限に活用することをコンセプトに製作いたしました。

●CoNETSビューア

平成29年度版からは教科書会社14社が参画して開発した共通プラットフォームCoNETSビューアでのご利用になります。

▶**CoNETSについて（http://www.conets.jp/）**

CoNETSビューアでは，先生ごとにユーザーを登録することで，書き込み情報や履歴などをそれぞれに保有することができます。

※画面サンプルはすべて「精選国語総合」となっております。

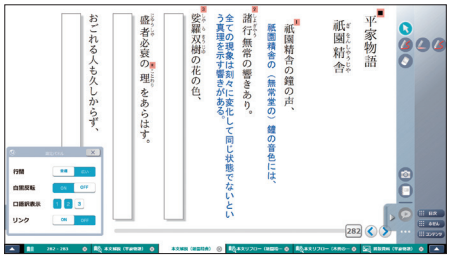
指導者用デジタルテキスト　〈校内フリーライセンス〉※1			
OS	ライセンス期間	価格	インストール方法
Windows版	教科書利用期間一括※2	40,000円+税	DVD-ROM / ダウンロード
Windows版 単年度ライセンス	ご購入年度末まで	18,000円+税	DVD-ROM / ダウンロード

学習者用デジタルテキスト　〈1端末1ライセンス〉※3, 4			
OS	ライセンス期間	価格	インストール方法
Windows版 / iOS版	教科書利用期間一括※2	1,500円+税	ダウンロード

※1 校内のすべての端末にインストール可能です。なお，価格は1学年の価格です。
※2 収録されている検定教科書の使用期間中はご利用いただけます。
※3 教師用デジタルテキスト購入校のみ購入できます。
※4 インストールする端末（1端末）ごとにライセンス料金をお支払いいただきます。

指導者用 豊富なコンテンツで授業をサポート

■本文解説

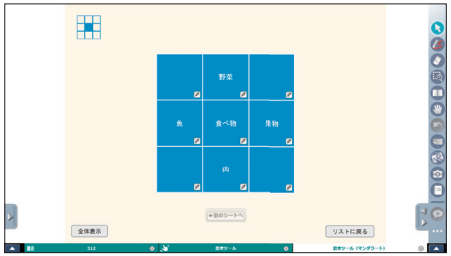


本文の口語訳のon/offができます。マスクをはがしながら表示することもできます。

■コンテンツ一覧

「フラッシュカード」「図版資料」「人物相関図」など，さまざまなコンテンツを収録。

■思考ツール



デジタルテキストオリジナルのコンテンツも多数収録しています。

■オンライン辞書

授業での提示に特化した指導者用の辞書サイトをデジタルテキストのリンクからご利用いただけます。

●動作環境 指導者用 （2020年1月現在）

	Windows版
OS	Windows 8.1 / Windows 10（32bit / 64bit 対応）※1
ブラウザ	Internet Explorer 11
CPU	Intel Core i3以上推奨
メモリ	4GB以上
空き容量	4GB以上（ビューア1GB+教材3GB）
その他	.NET Framework 4.5.1以降

※ Microsoft, Internet Explorer および Windowsは，米国Microsoft Corporationの，米国およびその他の国における登録商標または商標です。
※1 Windows RTには対応しておりません。

動作環境や導入にあたっての条件等は，CoNETSのWebサイトにて最新の情報をご確認ください。 http://www.conets.jp/

学習者用デジタルテキストについての特徴や動作環境など，その他詳細な情報は三省堂教科書・教材サイトをご覧ください。
●体験版DVD-ROMのお申し込みはeメールにてご連絡ください。
eメールアドレス：info-tbdt@sanseido-publ.co.jp

★三省堂教科書・教材サイト
https://tb.sanseido.co.jp